

# 令和4年度地震・津波防災訓練 (内閣府・沖縄県那覇市)

## 実施報告書 (概要版)

### 沖縄県那覇市について

那覇市は沖縄本島南部の西海岸に位置し東シナ海に面しており、高温多湿な亜熱帯気候である。沖縄県の県庁所在地となっており、政治・経済・文化の中心であり、県外や周辺離島とを結ぶ那覇空港や那覇港を擁することから、沖縄県の玄関口としての役割を担っている。面積は、約40km<sup>2</sup>、人口約31万人、都市化に伴って市及び周辺のベッドタウン化が進み、人口の増加が著しく、人口密度は高い。

市の中心部は国場川（漫湖）及び安里川に囲まれた平地地帯に広がり、主要施設の多くがそこに立地している。近年では1987年に米軍の牧湊住宅地区が返還されたことにより、那覇新都心としての開発が進み、中心地に置かれていた企業本社等の一部が移転し、新たな中心部となっている。また、中心部周囲の丘陵地帯はほぼ全て住宅地として市街化され、元々の地形高低から立体的な都市景観を見せている。琉球王朝時代に首都となっていた首里地区は海拔100m程度の高台に位置し、首里城（琉球王国のグスク及び関連遺産群の一つとして世界遺産に登録）を有する。

那覇市は、近年、オープンスペースの確保、緊急輸送路ネットワークの確保等、災害に強い都市整備を進めるとともに、平成28年には那覇市津波避難ビル（那覇市松山2丁目）を建設している。



## 訓練概要

訓練想定：令和4年11月5日（土）午前11時、沖縄本島南東沖地震三連動を震源とするマグニチュード8.0の地震が発生、那覇市において最大震度6強を観測、津波が20分後に襲来する想定のもと訓練を実施した。

実施日時：【訓練実施前WS】令和4年10月15日（土）10:00～12:00

【訓練】令和4年11月5日（土）11:00～16:00

【訓練実施後WS】令和4年12月3日（土）10:00～12:00

主催：那覇市、内閣府

参加者数：約700名（メイン会場の天妃小学校では約400名が参加）

参加機関：若狭地区の自治会、消防団、ボランティア、那覇市等

訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所運営訓練等

訓練の特色：一時避難施設～指定避難所の移動有、総合防災訓練と同時実施

## 訓練の成果

### 【成果】

訓練前ワークショップ、実動訓練及び訓練後ワークショップを接続させることにより、防災上の観点からの地域特性の把握が重要であり、津波に対する適切な避難経路の選定やそのための現地確認の必要性について参加者に理解させることができた。また、参加者のアンケート結果からは、今回のワークショップが地区防災計画、特に地域の特性を踏まえた住民主体による避難計画の作成についての端緒とすることができたことが窺えた。さらに、市民参加型で皆で話し合い考えることができたワークショップ形式の研修会が大変好評であった。

情報伝達訓練の一環として、海浜において津波フラッグを使用して避難を呼びかけた。これにより、津波フラッグを初めて住民たちに認識させることができた。

多くの住民に自宅や海浜から一時津波避難施設や指定避難所まで、実際に避難経路を歩いての避難を体験させることができ、避難にあたって倒壊した場合に障害となり得る建物や電柱、道路幅の過小、路面の高低差などの各種課題や時間的尺度について現地現物を通じて認識させることができた。

若狭地区としては、津波避難訓練の初めての機会となったが、自治会、消防団、専門学校生、ボランティアなど若狭地区及びその周辺の幅広い分野の団体に訓練への参加の呼びかけが行われ、延べ700名に及ぶ住民等が参加し、その連携要領等を現地において実際に確認できた。特に消防団については、避難行動等の要点等に配置して避難誘導や安全管理に当たらせ、津波避難行動における具体的な運用要領を検証することができた。

### 【課題】

今回の訓練においては、関係団体等から若年者の参加が多く、移動等は大変円滑に行われたが、若年者が少ない場合の高齢者等の避難行動を如何に円滑に実施するかについて今後の検討課題として認識することができた。

10月15日(土) 10:00～12:00 訓練実施前ワークショップ

- 地震・津波防災訓練の概要及び那覇市津波災害警戒区域マップについて説明した後、ワークショップとして、地区の白地図を用いて、地区の防災上の特性、津波からの避難経路等をグループで考察・表示・討議して、その成果の発表を行った。
- ワークショップにおいては、自ら考え、話し合っ対策等を立案させることにより、地区防災計画策定について啓発した。

総括アドバイス  
(琉球大学 神谷准教授)



ワークショップの様子



11月5日(土) 11:00～16:00 実動訓練（津波避難訓練、避難所運営訓練等）

- 11月5日(土)午前11時に大地震が発生し20分後に津波第一波が襲来する想定の下、市内全域でシェイクアウト訓練、津波避難訓練及び安否確認訓練等を行った。
- 若狭地区において、一時避難施設となっている波上宮・若狭公民館・津波避難ビルへの避難行動を訓練した後、指定避難所となっている天妃小学校への移動訓練を実施した。
- 天妃小学校では、コロナ対策資機材を活用した避難所を開設し、運営訓練等を実施した。

シェイクアウト訓練



情報伝達訓練  
(津波フラッグ)



津波避難訓練



指定避難所への  
移動訓練



障がい者の避難訓練



避難所運営訓練



12月3日(土) 10:00～12:00 訓練実施後ワークショップ

- 市から見た地震津波防災訓練全般の成果及びアンケート結果等について説明した後、グループ毎に訓練成果と今後の課題について討議するとともに、代表者による発表を行い、認識の共有を図った。
- 防災専門家による総括所見・講義を行い地震津波防災について、一層の理解を深めるとともに、地区防災計画策定の資を得た。

ワークショップの様子

